

マタイ 39

# 聖書が求める 柔和と謙遜とは？

マタイ福音書15章21～28節

ツロ・シドンの女の信仰

# アウトライン

0. イントロダクション

I. ツロ・シドンの歴史

II. ツロの女の信仰 15:21～28

III. まとめと適用

ツロの女の信仰に学ぶ

柔和と謙遜





## 0. イントロダクション

カペナウムの再現図

# メシアの生涯

宣教 → 拒絶 → 弟子訓練 → 十字架へ

イスラエル  
(指導者)

バプテスマ

荒野の誘惑

弟子の召命

宣教開始

メシア的奇跡

安息日論争

ベルゼブル論争

たとえ話

五千人の食事

ペトロの信仰告白

山上の変容

最後の弟子訓練

エルサレム入城

最後の晚餐

紀元70年  
エルサレム陥落

## メシアの活動は、弟子訓練に移行!!

- 主イエスは、教会の礎を築き始められている  
→訓練された使徒たちが、教会の土台に!!
- 教えと奇跡も、弟子たちの訓練のために実行。  
→弟子たちだけに解説される、**たとえ話**  
→弟子たちの前で実行される、**奇跡**
- ガリラヤの領主ヘロデと、エルサレムの宗教権威者に命を狙われ、イエスは、北方のツロ、シドンへ…



## I. ツロ、シドンの歴史

わずかに残るレバノン杉の森

# ツロ、シドンとは？

■ イスラエルの北にある町。地域。

長年、シドン人が支配。

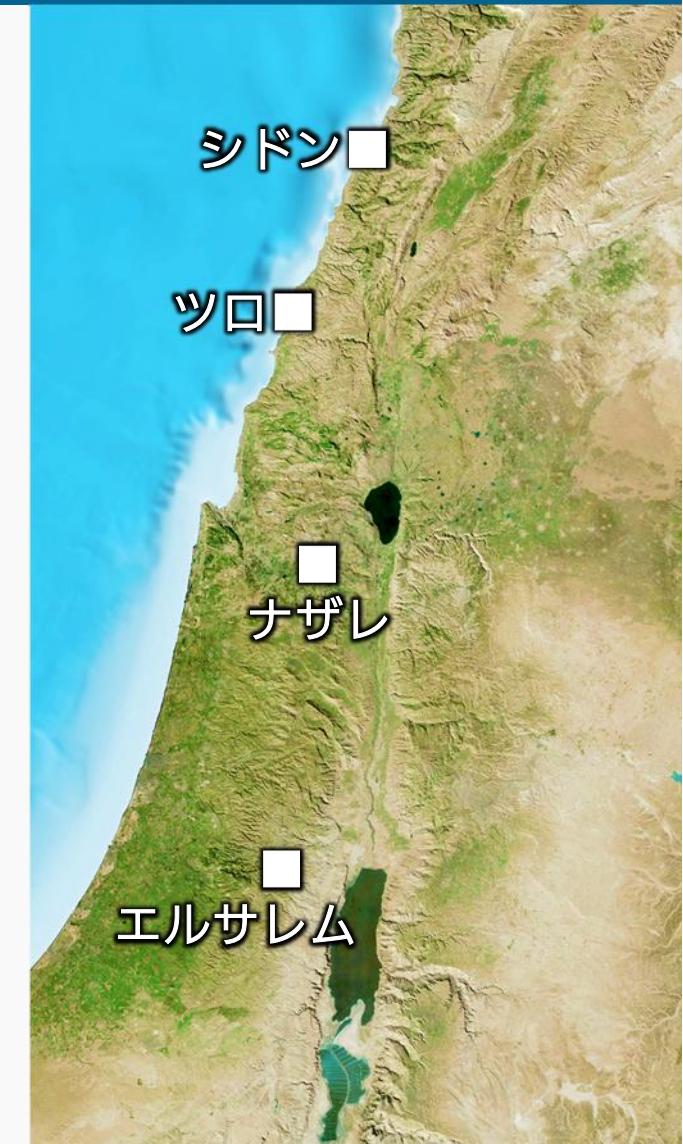
■ シドン人は、フェニキア人の一部。

→セム系。海洋民族。

地中海沿岸各地に都市を建設。

海上貿易で繁栄。優れた文明を持つ。

アルファベットの元を作った。



## 嗣業の地 ツロの町 ヨシュア19:29

その境界線はラマの方に戻り、城壁のある町ツロに至る。それから境界線はホサの方に戻る。その終わりは海である。

■ 12部族に分配された、約束の地。

→その北西端にあったシドン人の町がツロ

■ アブラハムへの主の約束では、

ツロも、約束された土地の一部。

→イスラエルの領土にはならず



## 王国時代 ツロの王 IIサム5:11

ツロの王ヒラムは、ダビデのもとに使者と、杉材、木工、石工を送った。彼らはダビデのために王宮を建てた。

ツロの王ヒラムは、ダビデの盟友。  
ダビデの王宮の建築資材を提供。



現在のレバノン国旗  
レバノン杉を中心に



レバノン杉

## 王国時代 ヒラムの信仰 | 列王5:7

ヒラムはソロモンの申し出を聞いて、大いに喜んで言った。「今日、【主】がほめたたえられますように。主は、この大いなる民を治める、知恵のある子をダビデにお与えになった」

### ■ヒラム王は、主を恐れる異邦人?!

ソロモンの神殿建設に積極的に協力。

→貴重なレバノン杉、木工、石工

(派遣された職人の長フラムは、  
ダン族の母、ツロ人の父を持つ)



周辺諸国の中  
ヒラム王ほどの  
信仰者はなかった

## 王国時代 シドンのやもめ | 列王17:7~9

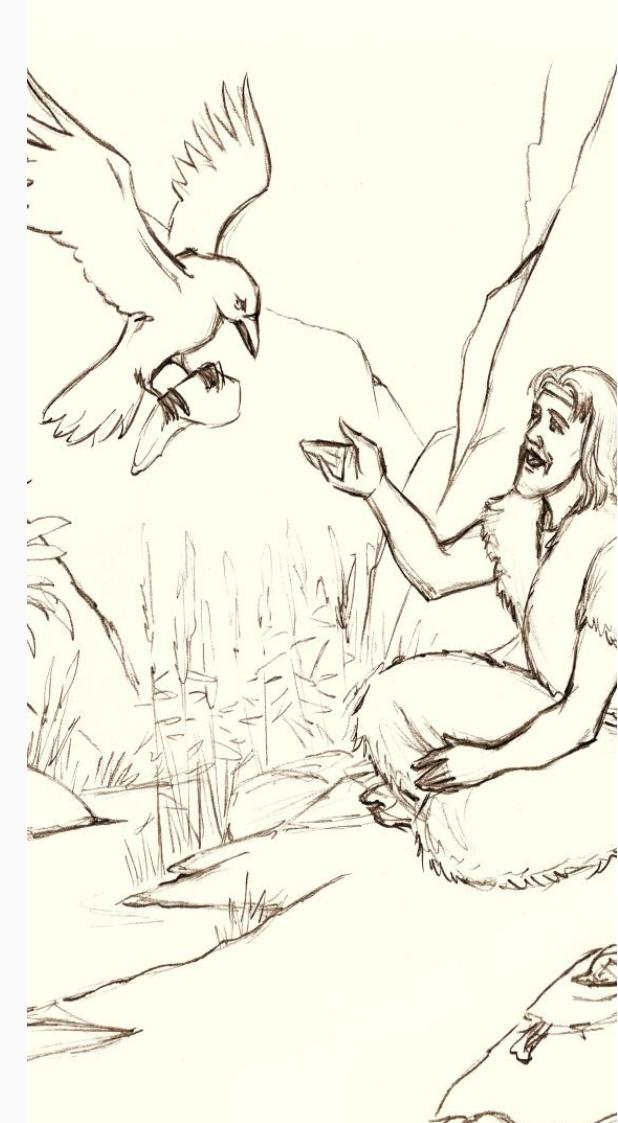
しかし、しばらくすると、その川が涸れた。その地方に雨が降らなかったからである。

すると、彼に次のような【主】のことばがあった。  
「さあ、シドンのツアレファテに行き、そこに住め。見よ。わたしはその一人のやもめに命じて、あなたを養うようにしている。」

■偶像礼拝の罪への裁きを受けたイスラエル。

エリヤが逃れたのが、ツアレファテのやもめ。

イスラエルの預言者エリヤを養った、シドンのやもめ

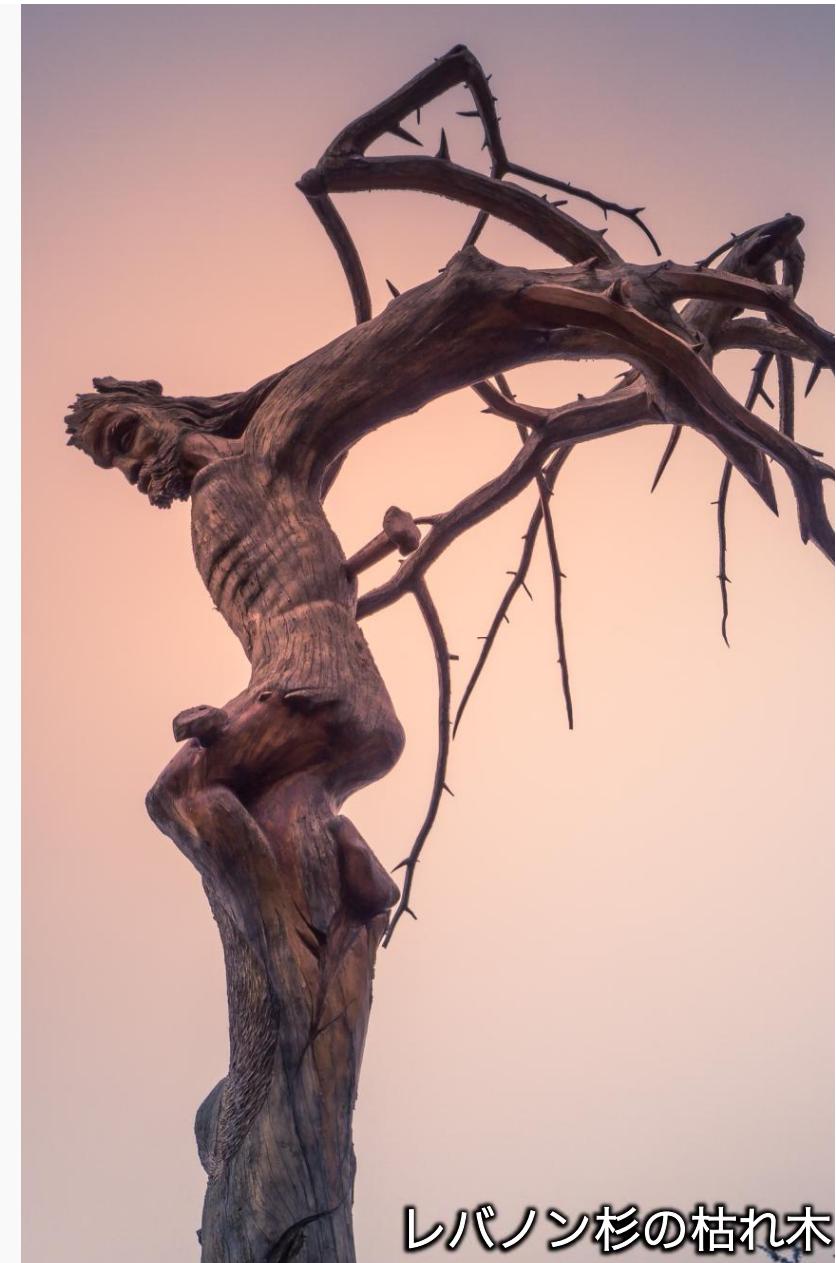


## 捕囚 バビロニアの侵略 イザ23:1~2

ツロについての宣告。タルシシュの船よ、泣き叫べ。ツロは荒らされて家もなく、そこには入れない。キティムの地から、それは彼らに示される。

海辺の住民よ、黙れ。海を渡るシドンの商人はおまえを富ませた。

■ツロ、シドンも、バビロニアの支配下に。ペルシアによって解放、海洋貿易で繁栄。



レバノン杉の枯れ木

## 捕囚後 第二神殿建設 エズラ3:7

彼らは石切り工や大工には金を与え、シドンとツロの人々には食べ物や飲み物や油を与えた。それはペルシアの王キュロスが与えた許可によって、レバノンから海路、ヤッファに杉材を運んでもらうためであった。

■ 捕囚から解放後、第二神殿建築時も、シドン、ツロから杉材が輸入された。



レバノン杉の古木

## 中間時代 ツロの哀歌 エゼ27:34~36

おまえが海で打ち破られ、おまえの商品とおまえの全集団が、おまえとともに海の深みに沈むとき、島々の住民はみな、おまえのことで啞然とし、その王たちはおぞ氣立ち、慌てふためく。

国々の民の商人たちはおまえを嘲り、おまえは恐怖のもととなり、とこしえに消え去る。

- フェニキア人は、第三次ポエニ戦争(BC149)でローマに敗北。中心都市のカルタゴが破壊。
  - 地中海各地の都市も衰退。歴史から消失。
  - ツロ、シドンもローマの完全な支配下に。



栄華も消え失せ  
歴史の闇の中に



## II. ツロの女の信仰

マタイ福音書15:21～28

ツロ・ローマの遺跡

## 本編

## ツロ、シドンへ マタイ15:21

イエスはそこを去ってツロとシドンの地方に退かれた。

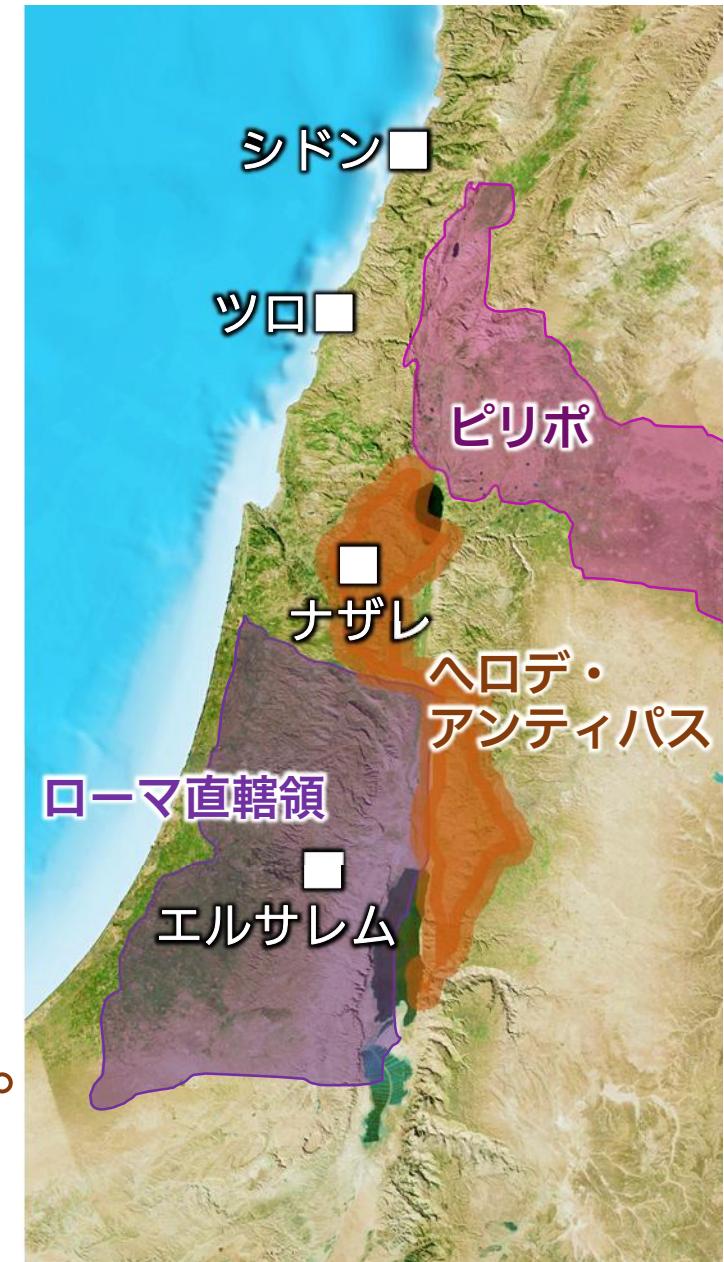
■ガリラヤの領主ヘロデとエルサレムの宗教指導者の手を逃れて、異邦人の地へ。

(アブラハムへの約束の地の一部ではある)

■ツロとシドンも、ローマの支配下。

ローマ風の都市が建築。海上貿易の拠点

「家に入って、だれにも知られたくないと思っておられたが、隠れることはできなかつた。  
マルコ7:24」



本編

異邦人の女 マタイ15:22a

すると見よ。その地方のカナン人\*の女  
が出て来て、

\*広い意味で約束の地の先住民の総称

カナン→墮落した民、ユダヤ人は蔑視  
「ギリシア人で、シリア・フェニキア  
の生まれ(マルコ7:26)」

→まさにツロ・シドンの末裔!!

「すぐにイエスのことを聞き(マル7:25)」

→ツロでも瞬く間にイエスの噂が!!



## 本編 女の嘆願 マタイ15:22

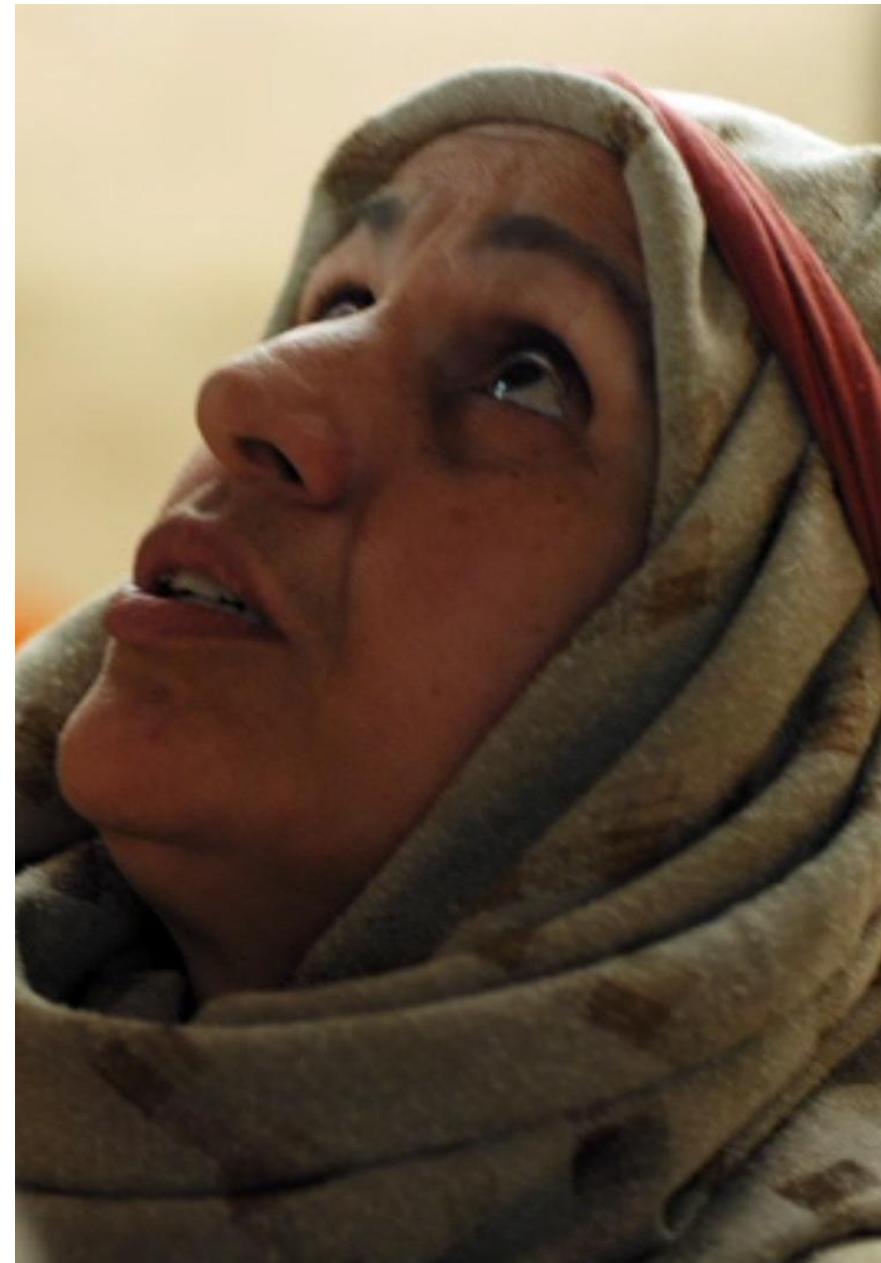
「主よ、ダビデの子よ\*。私をあわれんでください。娘が悪霊につかれて、ひどく苦しんでいます」と言って叫び続けた。

\*メシアの呼称

→イエスをイスラエルのメシアと理解

■主を恐れる異邦人だった！！

ツ口にもユダヤ人の会堂はあったろう。



## 本編 弟子たちの訴え マタイ15:23

しかし、イエスは彼女に一言もお答えにならなかった。弟子たちはみもとに来て、イエスに願った。「あの女を去らせてください。後について来て叫んでいます。」

### ■弟子たちもうんざり!?

イエスに無視されても、必死に求め続けた女の信仰。

「マタ 7:7 求めなさい。そうすれば与えられます。探しなさい。そうすれば見出します。たたきなさい。そうすれば開かれます」



## 本編 メシアの使命 マタイ15:24

イエスは答えられた。「わたしは、  
**イスラエルの家の失われた羊たち\***以外  
のところには、遣わされていません」

■12使徒の派遣時のイエスの命令  
「異邦人の道に行ってはいけません。  
また、サマリア人の町に入ってはいけ  
ません。むしろ、**イスラエルの家の失  
われた羊たち\***のところに行きなさい。  
マタ10:5～6」



メシアは第一に、イスラエルに遣わされた

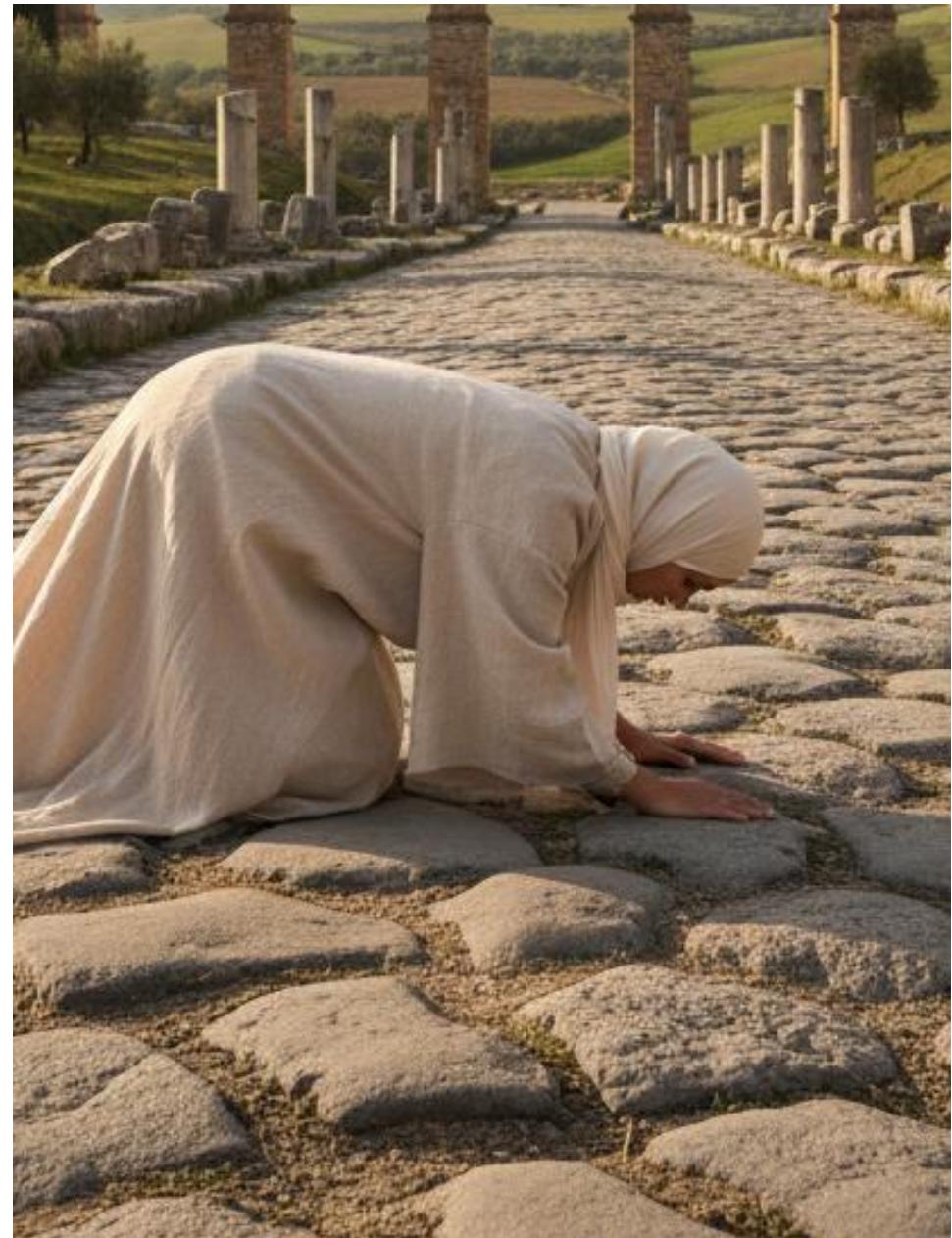
## 本編 ひれ伏す女 マタイ15:25

しかし彼女は来て、イエスの前にひれ伏して\*言った。「主よ、私をお助けください\*。」

\*“礼拝する”と同じ言葉

\*イエスは、娘を癒やすことができる。  
メシアへの深い信頼の現れ。

■厳しい言葉に、何も言い返さず、  
女は、主に、ただ憐れみを請うた。  
取税人の罪人のように(ルカ18:13)



## 本編 イエスの答え マタイ15:26

すると、イエスは答えられた。「子どもたちのパンを取り上げて、小犬\*に投げてやるのは良くないことです。」

\*愛玩犬…ローマでは愛玩犬の文化が  
イタリアン・グレイハウンド等➡

■“子どもたち”=イスラエルの民

“小犬”=異邦人



## 律法における “犬”

「出 22:31 あなたがたは、わたしにとて聖なる者でなければならぬ。野で獣にかみ裂かれたものの肉を食べてはならない。それは犬に投げ与えなければならない。」

「申23:18 いかなる誓願のためであっても、遊女の儲けや犬の稼ぎをあなたの神、【主】の家に携えて行つてはならない。これほどちらも、あなたの神、【主】が忌み嫌われるからである。」

■律法で、犬は、けがれたものの代表格。

例)流れ矢で死に、遊女が身を洗う池で戦車を洗われ、  
流れた血を犬になめられた、アハブ王( | 列王22:38)

## “犬”呼ばわりは、明確に蔑称

### ■偽善者への警告の文脈でのイエスの警告 マタ7:6

「聖なるものを**犬**に与えてはいけません。また、真珠を豚の前に投げてはいけません。犬や豚はそれらを足で踏みつけ、向き直って、あなたがたをかみ裂くことになります。」

→聞く気のない者に御言葉を与えてはならない

### ■子どもたち(イスラエル)に対応する形で、 小犬(異邦人)と呼ばれた?!

→“犬”が、蔑称であることには変わらない。

例) “豚”と“子豚”的差と同様?!

しかし、彼女は言った。「主よ、そのとおりです。ただ、小犬でも主人の食卓から落ちるパン屑はいただきます。」

①主の言葉を受容し同意する、女の謙遜。

②へりくだった上で、

主の恵みの大きさを強調!!

「【主】を恐れることは知恵の訓戒。

謙遜は栄誉に先立つ。箴 15:33」



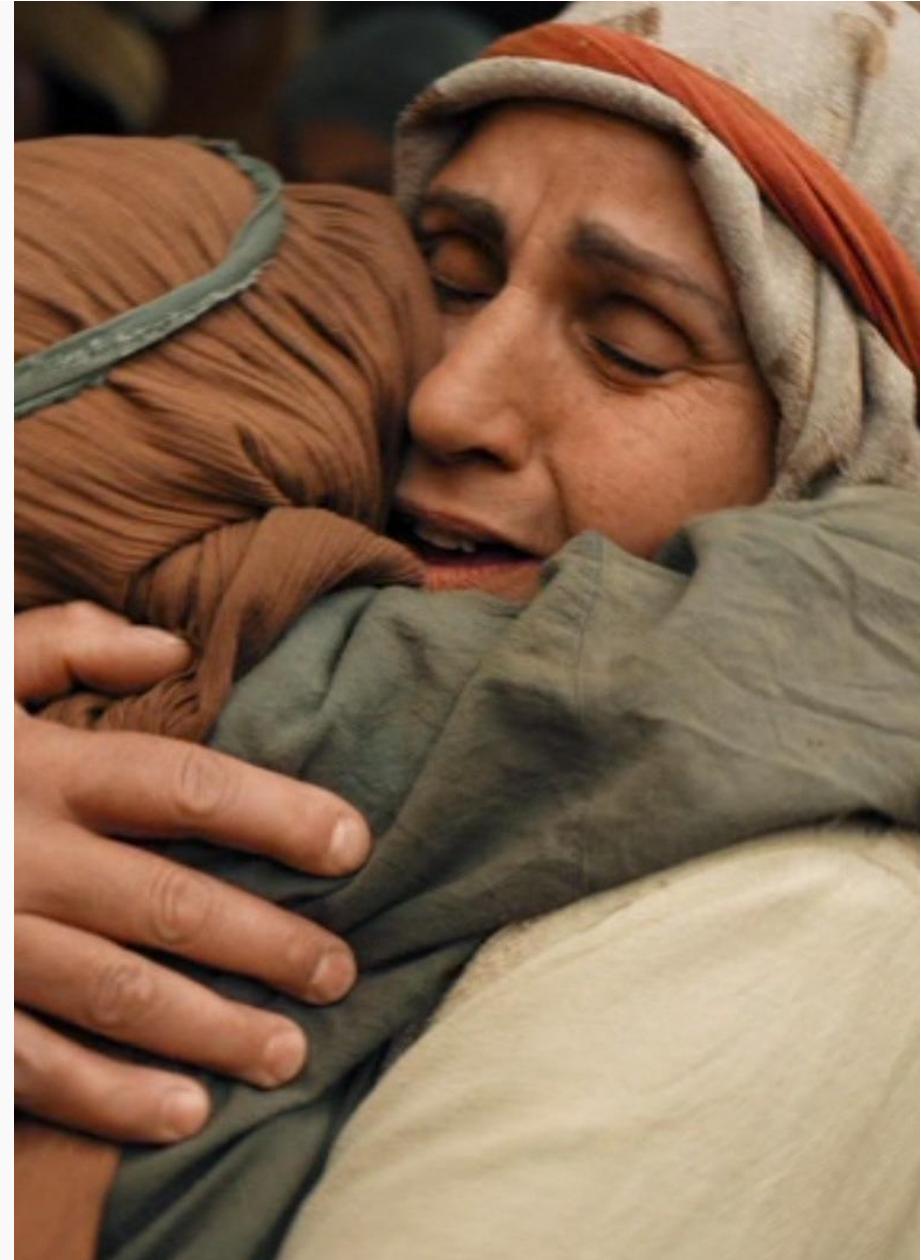
主へのおそれと謙遜が、この女性に機知を与えた!!

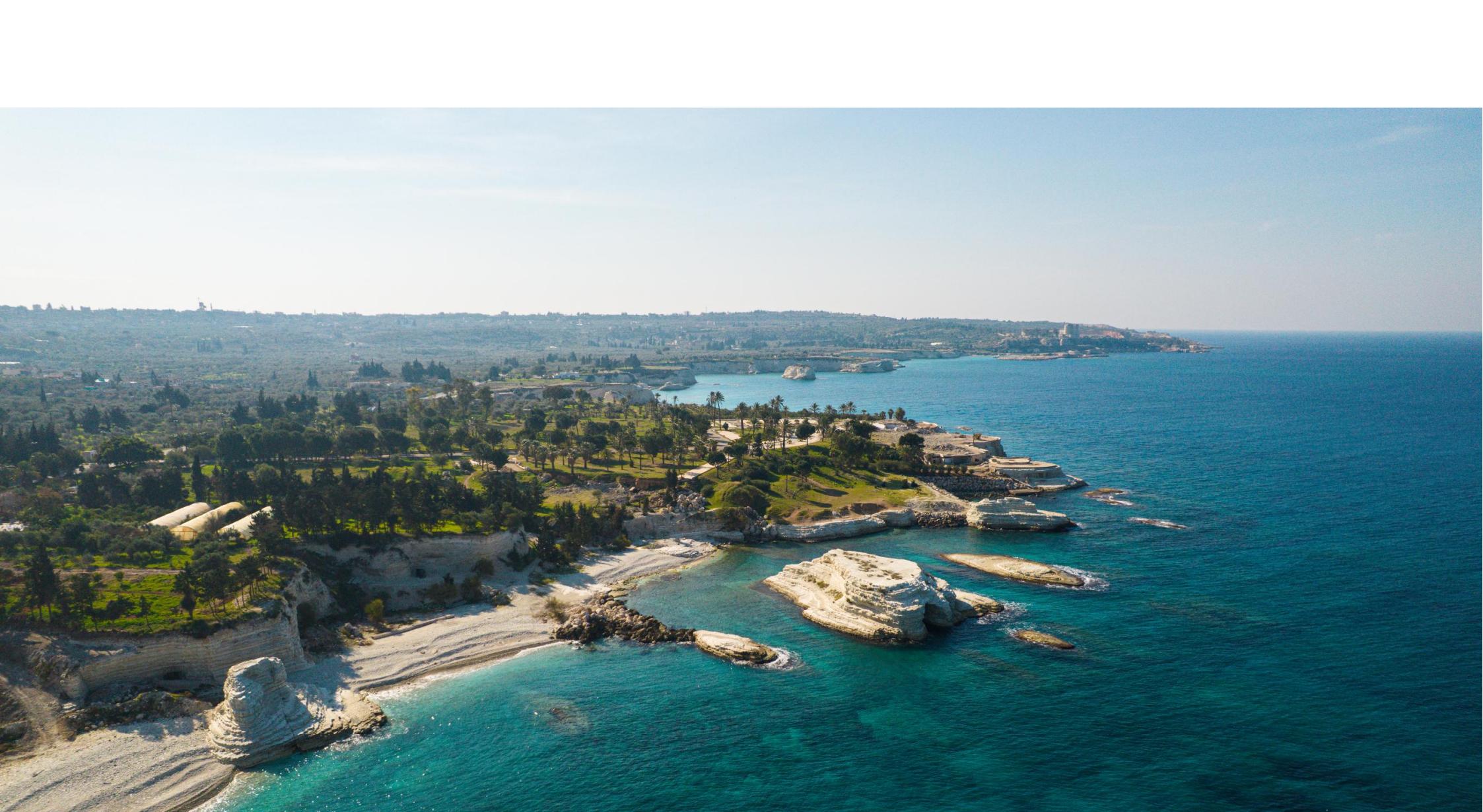
## 本編

## 娘の癒やし マタイ15:28

そのとき、イエスは彼女に答えられた。  
「女の方、あなたの**信仰は立派**です。  
あなたが願うとおりになるように。」  
彼女の娘は、すぐに癒やされた。

- 女は、立場も願うべきこともわきまえ、  
謙遜に、主の目に適う信仰を示した。
- 女の願いは、**主の願いと合致**。  
→娘は、即座に癒やされた  
主の前に物理的障壁は存在しない





## II. まとめと適用

ツロの女の信仰に学ぶ、柔軟と謙遜

ツロ・シドンの海岸

## ツロの女の示した信仰

- ①ナザレのイエスを、「ダビデの子」、**メシアだと信じた。**
- ②娘の癒やしを必死に**求め続けた。**
- ③メシアは、イスラエルにしか遣わされていないという真理を受け止め、なお主を信頼し、**ただ憐れみを請うた。**
- ④柔軟に謙遜に、**メシアの言葉を受け止めた。**  
主の恵みを信頼し、**主の恵みの豊かさに訴えた。**

御言葉の正しい理解と　主への確かな信頼に　基づく信仰

## ツロの女の信仰の背景には？

- 連ねられてきた、主を恐れる異邦人の系譜。  
…ツロの王ヒラム、ツアレファテのやもめ
- 離散したユダヤ人の会堂に通っていた？!  
→主の言葉への的確な応答は、正しい知識があってこそ。
- 打ち碎かれ、試練で鍊られた、柔軟さと謙遜。  
→娘の病が女の信仰を磨くきっかけに？!

■ 罪の重荷か、主のくびきか マタイ11:28～30

「すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。

わたしは**心が柔軟でへりくだっている**から、あなたがたも わたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすれば、たましいに安らぎを得ます。

わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからです。」

■ 柔和で謙遜な主にならい、主のくびきを負って主に学ぶ!!

主が求められる 柔和、へりくだりとは？

## 「柔軟」とは？

### ■ AIの応答(Gemini)

「やさしく、おだやかなさま。

とげとげしい所のない、ものやわらかな態度・様子。」

### ■ 「柔軟」呼ばわりが、柔軟？

→今の日本なら、SNSであつという間に大炎上!!

聖書の言う「柔軟」は、日本的な「柔軟」とは違う!!

## 「柔軟」とは？ 主イエスの言葉を再確認!!

「わたしは心が柔軟でへりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。マタイ11:29」  
「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負って、わたしに従って来なさい。マタイ16:24」

- 主イエスが示された柔軟と謙遜の極みが、十字架の死。
- 私たちに求められる柔軟と謙遜は？  
→自分の十字架を負って主に従うこと。主の御言葉への従順。

「柔軟」とは、御言葉の教える主の権威と秩序への従順

## 聖書における、「柔軟」の対義語は？

■ 主に言い逆らったイスラエル 出32:9

【主】 はまた、モーセに言われた。

「わたしはこの民を見た。これは實に、うなじを固くする民だ。」

■ イエスの復活を認めなかつた使徒たち マルコ16:14

「その後イエスは、十一人が食卓に着いているところに現れ、彼らの不信仰と頑なな心をお責めになった。」

■ 「柔軟」の対義語は、「頑な」。主の御言葉への無理解、反発。

私の心は、主に対して「柔軟」か？ それとも「頑な」か？

## 聖書における、「柔軟」の対義語は？

■ 主に言い逆らったイスラエル 出32:9

【主】 はまた、モーセに言われた。

「わたしはこの民を見た。これは實に、うなじを固くする民だ。」

■ イエスの復活を認めなかつた使徒たち マルコ16:14

「その後イエスは、十一人が食卓に着いているところに現れ、彼らの不信仰と頑なな心をお責めになった。」

■ 「柔軟」の対義語は、「頑な」。主の御言葉への無理解、反発。

私の心は、主に対して「柔軟」か？ それとも「頑な」か？

# 主に喜ばれる礼拝を!!

## ■神の喜ばれる礼拝 ヘブル 12:28

「このように揺り動かされない御国を受けるのですから、私たちは感謝しようではありませんか。感謝しつつ、**敬虔**と**恐れ**をもって、神に喜ばれる礼拝をささげようではありませんか。」

■敬虔もまた、主の前での**柔和**、**謙遜**な姿勢、態度。

■自分の思いや感情や、こだわりに捕らわれているだけで、御言葉に心を澄ませて聞いていないなら、なんの意味もない。それは礼拝にはなっていない。主イエス曰く、「豚に真珠」。

## 聖書の教える「柔軟」

- 主が求められる柔軟とは、主への従順。  
自分の思いや感情に流されず、人に左右されず、  
謙遜に、ひたすら主の御言葉に聞き従って行くこと。
- 世の人は、むしろ頑なだ、心が狭いと責めるだろう。  
例)「キリストしか救いがないなんて!!」  
「イスラエルが神の選びの民なんて!!」

主に「柔軟」であることで、あなたは十字架を負うだろう

# ツロの女の柔軟と謙遜

## ①柔軟

…主の御言葉への徹底した従順

御言葉をよく学び、理解した上での「ダビデの子」。

主イエスの言葉も、まず聴いて、受け止めた。

## ②謙遜

…主の優先順位を理解し、従った。

異邦人としての立場をわきまえた。

■主へのおそれに基づく柔軟と謙遜が、御靈による知恵を与えた。

主への柔軟と謙遜の結果、知恵ある応答に導かれた

# 教会時代の宣教の原則

■ メシアの公生涯は、律法の時代

→イエスは、イスラエルのメシアとして来られた  
第一は、イスラエルへの布告と救い

■ 教会時代、律法の縛りはなくなり、異邦人伝道が解禁!!

→それでも変わらない原則が  
「福音は、まずユダヤ人、そしてギリシャ人(異邦人)へ」

(ロマ1:16)

柔軟と謙遜をもって、異邦人信者の使命を受け止めよう

## ★ 異邦人信者としてツロの女に学ぼう ★

- 人は情に訴え、流されるが、ツロの女は違っていた。  
聖書を正しく理解し、主の選びと秩序を受け入れていた。  
目の前のメシアの言葉を傾聴し、適切に応答した。
- 主への柔軟で謙遜な信仰が、聖靈を通して彼女を助けた。  
主へのおそれがあり、主に与えられた知恵があった。  
主のご計画と秩序をよく理解し、主の願いを知っていた。

柔軟と謙遜をもって、主の御言葉に従って行こう!!

てんとうわたしつみ  
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。

わたしかみこしゅ  
「私たち、神のみ子、主イエス・キリストが、

わたしつみあがなじゅうじかし  
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はかほうむ  
②墓に葬られ、

みっかめふっかつしん  
③三日目に復活されたこと、を信じます。

わたしかたくしゅひびうくだ  
私たちの頑なさを、主が日々打ち砕いてください。

おんなにゅうわけんそんみつ  
ツロの女のような柔軟さと謙遜を 身に着けられますように。

わたしだいいちしゅみことばこころかたむきしたが  
私たち、第一に、主の御言葉に心を傾け、聞き従います。

しんしんこうしゃしゅれいはいしゅしめいもの  
真の信仰者として主を礼拝します。主の使命に遣わしてください。

かんしゃしゅないの  
感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」